



鏡石町×ハ芳園連携事業

町産フルーツ PR プロジェクト

町では、株式会社ハ芳園（東京都港区白金台）と町産のフルーツをPRするために「鏡石を味わうカフェ」として、期間限定で鏡石駅東口、鳥見山公園でクレープ等を提供するキッチンカーを設置します。

今月号では、その取り組みについて紹介します。

町のフルーツについて

鏡石町は、平坦で肥沃な土壤に恵まれていることなどから、農業が盛んで、中でも各種の果樹の産地としても知られています。

各種の果樹はそれぞれ県内でもトップクラスの生産額を誇り、その品質の良さも高く評価されています。

農業産出額の県内順位（R4 推計）

区分	順位
もも	8位
ぶどう	15位
日本なし	9位
西洋なし	5位
りんご	9位
いちご	5位



これまでの取り組み（ハ芳園）

これまで町と株式会社ハ芳園では、町特産のフルーツの美味しさをPRするために、様々な取り組みを行ってきました。

昨年、旬のいちごやりんごをはじめとする「食」、「人」の魅力を体感することのできる町独自のイベントを東京都内で実施しました。町産のフルーツを使ったメニューを提供する試食会や名産品の販売会、ワークショップの機会を設け、町の魅力を伝える取り組みです。この試食会には、岩瀬農業高校の生徒も参加し、首都圏の消費者へのPR活動を行いました。

今回、町では町産フルーツの新たなPRとして、「鏡石を味わうカフェ」を行うこととしました。期間限定で行われるカフェでは、株式会社ハ芳園のパティシエが町産フルーツを使って開発したスイーツを販売します。



- ①いちご&りんごフェアの様子 (KITTE 丸の内 (東京都内))
- ②福島の桃まつりの様子 (MuSuBu (東京都内))

鏡石を味わうカフェ開催

- ◆ 10月12日(土) 鏡石駅東口
- ◆ 10月13日(日)～19日(土) 鳥見山公園 (西側駐車場付近)
- 時間 11時～16時
- 販売内容
 - クレープ：シャインマスカットレモン、洋ナシキャラメルブリュレ、シナモンアップルメープル
 - レモネード：シャインマスカットレモネード、洋ナシライムレモネード、アップルはちみつレモネード

Interview



メニュー開発 株式会社ハ芳園 パティシエ 岩井 大輔 さん

鏡石町を訪れ、町産のフルーツの生産現場を肌で感じ、その素晴らしさを伝えたいという思いが募りました。農家の方と触れあい、更に高まった想いを形にするために、フルーツが主役のスイーツを提供するカフェを期間限定でオープンします。町の皆さんに、made in kagamiishi フルーツの魅力を再発見していただけるように想いを込めて商品化しました。



自ら企画したクイズ大会で出題する岩瀬農業高校の生徒

多くの来場者で賑わう出店スペース

クイズで見事優勝し、町産の果物をゲットした参加者



クイズを楽しむ参加者

岩瀬農業高校産、町産フルーツなどについて説明販売する生徒

地元高校生考案 鏡石フルーツ祭り開催

町魅力あるまちづくり実行委員会では、9月7日(土)「地域の高校生が考えた『鏡石フルーツ祭り』を開催しました。このイベントは、町公式キャラクター「牧場のあーさー」の10周年を記念した「高校生アイデアコンテスト」で最優秀賞となった企画で、町産フルーツをPRしたいという地元高校生の思いを、町魅力あるまちづくり実行委員会と協同で実現しました。

当日は、岩瀬農業高校や地元農家が栽培したフルーツや花の魅力を、生徒たちがパネルなどを活用してPRしました。フルーツ等の直売も行われ、好評により完売しました。

さらに、高校生が問題を作成した町産フルーツやアイスクリームに関するクイズ大会が開催されたほか、キッチンカーなど22店舗の出店もあり、約2200人もの来場があり、会場を沸かせました。

Interview



鏡石町魅力あるまちづくり実行委員会 実行委員長 清野 明 さん

次代を担う若年層に、町の魅力を再認識したり、地域に貢献したいという思いを醸成するきっかけ作りとなればという思いから始まった企画でした。実際に打ち合わせや開催当日に高校生たちから感じた熱量や企画力、行動力には本当に驚かされました。イベント当日は、多くの方に参加いただけて、大成功となったと思います。



岩瀬農業高等学校 アグリビジネス科 3年 芳賀 翔太 さん

今回、フルーツ祭りの企画に携わり、当日はクイズの出題者を担当しました。どうすればイベントに注目してもらえるかなどを考えて企画しました。このフルーツ祭りをきっかけに、鏡石町の魅力や美味しいフルーツがたくさんあることを知ってもらえれば嬉しいです。